

創造科学系 美術教育講座 教授 まつもと あきひこ 松本 昭彦

研究分野のキーワード：絵本づくり，肖像画，キミ子方式，イラストレーション，技法材料

研究紹介

絵画制作と絵画教育を専門にしています。絵画には幅広い表現方法があり、写実的な表現から抽象的な表現まで各種さまざまです。私の場合、写実からイラスト的な表現の間で絵を描いています。かつてアメリカにいた頃は抽象画を描いていましたが…。



絵を描く素材や技法もまちまちで、油絵・テンペラ・不透明水彩（ガッシュ）・アクリル・ペン・色鉛筆・クレヨン・木版・切り絵等、何でも使います。それは私が絵に表したい世界を自由に表現するためです。

よく「美術は自由だから素晴らしい」とか「自由の素晴らしさを伝えられる教員になりたい」という声を耳にします。また「他の教科では正解は一つでも、美術は人の数だけ正解がある」という話も良く聞きます。それはそれで結構ですが、「自分さえ良ければ何をしても良い」ということとは話が別だと思うのです。絵について言えば、私は「何でも描ける」「どのようでも描ける」まで、しっかりと基礎を学ばなくてはならないと思うのです。

私たちは見て、感じて、考えるというプロセスを経て行動します。でも感じ方は個性なので教えることができません。ですから見る（認知）・考える（判断）・行動する（操作）方法を教えて、できることの幅を広げていくことが教育の根本だろうと私は思います。「好きなことや、できることだけをしていれば良い」という意見には反対です。それでは不自由だと思います。

たくさん見て、あれこれ考え、たくさん描いて、いろいろ勉強して、ちょっと考えを文章にまとめてみて、また描いて…。私の研究はこんな感じです。